

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社センターキュア	事業所名	センターキュア看護小規模多機能型居宅介護事業所
所在地	(〒 294-0052) 千葉県館山市亀ヶ原 751-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- * 住み慣れた地域の中で、住み慣れた自宅で、その人らしく暮らせるように支援いたします。
- * 24 時間、看護・介護で共同し柔軟にサービスを提供いたします。
- * 医療管理が必要でも自宅で暮らせるように、介護者の負担軽減を図りながら支援いたします。
- * 各職種で連携を図り、ご家族、地域、医療機関、各事業所の方々、包括支援センターとの連携も密にして、地域包括ケアの役割を果たしてまいります。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	2024 年 10 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(28) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	2024 年 10 月 25 日	出席人数 (合計)	(3) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 () 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 () 人 <input type="checkbox"/> 利用者 () 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 () 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 () 人 <input type="checkbox"/> その他 () 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> * 理念について、見やすく詳細に表現して掲示する。 * 研修委員を新たに選任して年間計画をつくって実施。 * BCP マニュアルの完成後の改定を繰り返し実務にのって使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 理念を細かく詳しくして掲示する。 * 前年のマニュアルを元に、介護スタッフ2名で再編成して研修実施。 * 感染者が出る度に改定を作成し全スタッフに公表。 	<ul style="list-style-type: none"> * 理念は理解・共有・共感を得ている。 * 10月いっぱいまで年間計画終了。次年度は、各職種から1名ずつ選出して計画する。 * 改定する度に、自社特有の内容に仕上がってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> * 詳細な理念が完成して良かったです。 * 具体的な計画で良いです。 * BCP 作成は最低限必要。常に改定を継続して下さい。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者の24時間の暮らし全体に着目するように情報収集し、アセスメントする。看護・介護が共通理解して内容を分担する。	ミーティングでカンファレンスを重ねて理解を深める。提供できるサービスを確認しあう。	申し送り、メール、ラインで情報共有するが、状態の変化に即応するのが困難な事がある。カードックスを検討中。	カードックスは良好です。情報の共有を徹底してください。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	病院・施設等の連携の為にカンファレンスに参加する。	カンファレンスにも、多職種で時間を合せて参加。	カンファレンスや受診に同席して情報共有。訪問看護は、毎月計画報告を主治医に提出し質疑に回答している。	質疑の内容も共有してください。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ホームページが出来たばかりで運用に慣れる。	施設内の掲示を公表していく。 Instagramの作成と公表。	ホームページの運用に慣れつつあり、掲示書類の公表の準備が出来つつある。	個人情報の保護と情報漏れを再度注意してください。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	医療管理と看取りの安心感を得られるようにする。	ケースに応じて計画目標を設定する。	家族満足度は向上している。 グリーフケアを開始できた。	グリーフケアは、家族と職員のフォローにもなっている。	

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> *業務内容の改善に向けて、人事考課を取り入れており年度目標として全職員に目標設定をする。 *看護と介護での情報共有と情報提供を行いケアの方向性を統一する。 *感染・防災委員を中心に訓練の実施とオリエンテーション時に新入職員へ実施する。 	<p>看護介護の共通理解をしてください。</p> <p>感染症対策も盛り込んでください。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> *利用者・家族と信頼関係を構築し、在宅生活を安心して過ごせるサービス提供を行う。 *専門的で質の高いサービスを提供するために、研修の参加率の向上や参加できない方の補習ができるようなシステムをつくる。 	<p>地道に時間をかけて行う。</p> <p>具体的な計画をたてて行う。</p> <p>独自の研修に対して職員が共有している。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> *関係機関との連携をとり、地域の中での役割が理解できる。 *緊急時の対応について、全職員が情報を共有し対応ができるようなシステムをつくる。 	<p>地域とのつながりを手探りで協力し合ってください。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> *看護小規模多機能型居宅介護事業所としての役割を理解し、医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れていく。 *地域活動を通して、地域との交流をもつ。 	<p>〃</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> *医療ニーズの高い利用者が住み慣れた地域での生活を維持できるよう支援体制を整える。 	<p>医療はなくてはならない方の利用、責任感をもってください。</p>	

※「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		23	4	1	理念は朝の朝礼で読み上げてみては？ あるいは、時折読んでいただく等検討してみては。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズに対応している。 ・医療ニーズの高い支援がまだ不安なところがある為努力している。 ・本人や家族に寄り添い、要望に応じるようにしている。緊急対応がある。 ・年々、医療ニーズの高いご利用者が増えご本人とご家族に合わせたプランで看多機ならではの支援を行っている。 ・本人、家族の希望に沿ったケアに心がけている。介護負担の軽減を図っている。 ・各利用者に合わせた支援を心掛けている。 					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	0	21	4	3	「あまりできていない」「全くできていない」という回答の意見を吸い上げましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が楽しんで過ごして頂けるよう配慮している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	17	4	6	新人とリーダーの立場の違いをどのように反映しているか、計画的に出しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・研修やミーティングで、ケースに対する話し合いをして質の高いサービスが出来るようにしている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	20	2	4	介護の教育を継続しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・喀痰吸引の座学や実習等の研修や研修により専門職としての技術向上を図っている。 ・技術向上の為、同行訪問や研修に参加している。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情	3	22	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ミーティング時に利用者の情報共有を行いケアの方向性を統一している。 ・不明点は都度確認、相談をしている。 ・ミーティング、メール、ラインを活用し利用者の状態変化等タイムリーに職員間で情報共有できている。				「全くできていない」が「0」ですね。 継続して下さい。	✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	14	8	6	運営推進会議の議事録にはコメントを追記して掲示しているのですね。 一方通行ではなく掲示に対してどうなのか確認するといいです。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	4	23	1	0	定時であがれるような声掛けいいですね。 メンタル面も大変なお仕事なので、フォローも取り入れてください。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・働きやすい環境や相談・発信してもらえるよう努めている。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	22	2	0	メモ漏れないように、ケースにより最善の形を継続してください。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・メール、ラインを活用し日々の情報更新を行っている。 ・医療の事は看護師が記入することで理解しやすくなった。 ・利用者の状況変化によりサービス内容を変更し迅速に共有できるよう口頭での申し送りやメールを活用している。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	6	21	1	0	安全管理の徹底と、起こしてしまった後のフォローをしましょう。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」な
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・事故発生時、報告書をもとにリアルタイムで情報を共有し、ミーティング時に対策を検討している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・事故内容を振り返り再発防止をしている。 ・ヒヤリハットや事故発生時は、職員間で共有し周知徹底を実施している。 ・ヒヤリハットから危険予知活動にこころがけている。 					どが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	19	5	1	<p>継続しましょう。 地域の方との関りを持ちましょう。 11月5日も地域の避難訓練に参加しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	2	12	13	0	「あまりできていない」は、実際に家族に会えないケースあり深くコミュニケーションがとれない。 今風の時代の流れかも。時代に応じて工夫へ。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間の緊急時対応の体制ができています。 ・ 家族の介護力や負担等にも着目しアセスメントを実施している。 ・ 介護状況によって泊りだけでなく夕食を食べて帰宅する等、柔軟な対応をしている。 ・ 利用者とのコミュニケーションを図り普段の生活を想定する努力をしている。 					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	17	8	0	記録をしっかりと残して共有して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ミーティングでの共有が行われている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜勤帯の様子の報告。 ・ 各専門職の視点を共有。 					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0	22	6	0	計画に対して振り返り、評価もしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>個々のニーズに沿ったプランについて計画作成できている。</u> ・<u>多職種連携を図っている。</u> ・<u>利用者、家族の意向に寄り添った計画実行ができています。</u> 					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	22	4	0	職員間で体験、訓練して介護の研修して向上へ。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の状況に応じプラン変更され関わっている。 ・残存機能を活かすように努めている。 ・自立支援を大切に介護の実践を職員間で認識し実践している。 					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	19	6	1	リスクは常に話しているのですね。今まで通り対策と報告しましょう	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態を共有しリスク管理を踏まえた計画の作成をしなければいけないと思う。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> 各専門職がリスクや予後予測を実施し気づきを迅速に共有し実践できるように図っている。 リスクの予測した内容は家族と共有している。 					<p>においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	0	19	7	1	<p>管理者会議はありますか？出来る事から実践していきましょう。</p>	<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護職として適宜、管理者に報告している。 状況変化への対応はしても計画には反映できていないかも。 					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	0	12	9	6	<p>偏らないが難しい。家庭の状況にあった対応。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ミーティングで共有している。 訪問時、家族の状況を把握し、変化に伴ったケアを提供している。 本人、家族の状況変化がないか把握するため定期的に評価を実施している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・必要に応じ訪問を行い、状況に応じて泊り利用に変更し柔軟な対応をしている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	0	25	3	0	主治医は色々なのですね？ 日頃からの連携を心がけてください。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状態異変時も主治医と連携をとり情報共有をしている。 ・事業所外の関連機関と連携を図り生活向上ができるように努めている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	24	2	0	介護・看護がわかるよりも 協力し合う事が必要。人員不足を乗り越えてください。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状況に応じて業務を分担し柔軟性をもった対応をしている。 ・状況に合わせてフォローし合っている。 ・役割分担し効率的、柔軟に対応している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	0	27	1	0	記録をしっかりとしましょう。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ミーティング時、朝の申し送り時、利用者の状況を相互に情報共有し連携している。 ・状態変化に伴い担当者会議やカンファレンスを実施し情報共有を図りたい。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	0	25	3	0	新規の受け入れの体制を確立してください。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ミーティングや申し送りで情報を受けている。 ・夜勤時の緊急時対応においては、退勤前に状態確認し、予測から事前指示を受けている。 ・看護から提案や助言を職員間で共有し連携を図っている。 ・新規の迎え入れの準備が確立していない。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	23	2	1	専門用語は使わないようにしましょう。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・声掛けやトーンをかえ、ゆっくり説明するように努めている。 ・理解度の評価していく必要がある。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	18	5	3	書類の保管をしっかりとしましょう。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・共有しておきたい事は見学や契約時に説明している。理解度を評価し関わる必要がある。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	19	5	1	取り扱い方法など、図などを使用し適宜対応しましょう。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅でのケア方法を自宅に訪問し介護指導助言を行っている。 ・本人や家族がわかりやすい様に説明しているが、理解度を評価する必要がある。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表	4	22	1		サービス提供側のライン忘れ	✓ 「サービス提供への適切な反

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している				0	ないように。深入りしてしまわないように。	映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・本人、家族と信頼関係を構築しニーズに合わせた対応をしている。 ・意向や思いに寄り添ったサービス提供に努めている。 ・診察時に立ち会って主治医を含めた話し合いの場を持てるように努めている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	0	17	3	2	出来ていない意見は大事です。改善大切です。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・リスクの予想を検討している。 ・リスクをわかりやすく説明するように努めている。今後の方針は相談不足かな。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	14	5	3	<u>皆さんの笑顔を忘れずに。</u>	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・ご家族の不安感を軽減できるよう状況報告をこまめに行っている。 ・ポイントで説明している。 ・主治医からの説明について記録し本人、家族の意向を伺い記録に残している。					
2. 多機関・多職種との連携							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	19	3	4	連絡先や担当者を整理して速やかに対応して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・退院前のカンファレンスに参加し状態把握をしている。 ・カンファレンスで事前情報やケアの方向性を共有している。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	3	9	7	6	主治医とのやり取りは、家族には敷居が高いので、家族の替わりになる事も心がけてあげてください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・指示を受ける時に、緊急時の対応について情報交換をしている。 ・主治医と常に連携をとっている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について	5	16	3	1	情報の更新大事です。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間の緊急時連絡体制が整備されている。 ・急変時に即対応ができるよう自宅に緊急連絡ファイルを準備し救急受診用のサマリーをあらかじめ挟んである。 ・主治医と連携し急な対応ができるようにしている。 					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	7	5	11	わかりやすく掲示しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	9	9	4	記録について意識をもって取り掛かってください。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・記録ファイルをどの職員でもみる事ができる場所に保管し、鍵で管理している。 ・記録は、端末とファイルにまとめ職員が共有できるようにしている。 ・会議の報告は、ミーティングで発表しファイルを閲覧できるようにしている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	3	12	5	4	少しずつ地域の交流を進めてください。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
② 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	3	7	3	8	伝えていきましょう。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・二枚看板なので、外部からの依頼等の受					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		け入れも行っている。					<p>な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	17	3	3	継続して下さい。	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・夜勤スタッフを中心に喀痰吸引の資格を取得している。</p> <p>・研修に参加し技術、知識向上に努めている。</p>					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れること	<u>3</u>	<u>17</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>夜間の緊急対応が難しいですよね。</u>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] ・日中の利用時のみ受け入れている。					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>6</u>	<u>14</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	グリーフケア等につながってください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	4	12	5	地域での発表の場で広げてください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアについて理解できるように努めている。 ・看多機としての役割を地域の方に理解して頂けるよう策を練りたい。 					<p>ることが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</p>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	6	16	3	0	<p>地域を限定せず、地域全体で取り組む必要があるのではと思いますよね。</p>	<p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</p> <p>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	8	10	7	<p>11月5日の地区の避難訓練に取り組みましょう。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<u>1</u>	<u>13</u>	<u>7</u>	<u>4</u>	<u>家族会とか家族の集まりで説明会を検討しましょう。</u>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p><u>・家族に対する取り組みはしている。</u></p> <p><u>・介護力の把握と介護者の不安要素について情報収集している。</u></p> <p><u>・不安を最小に介護ができるよう支援に努めている。</u></p>					

	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				

	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 9 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 12 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 2 4. 利用者の 1/3 には満たない 2 [具体的な状況・取組内容] ・要望の聞き取りを大切にしている。 ・本人と家族の意向に沿った目標に向けて計画的に実施し評価、見直しを行っている。 ・個々に合わせた柔軟な対応に心がけている。	いろんな方への対応を柔軟にしてください。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られ	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 9 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 15 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 1 4. 利用者の 1/3 には満たない 0	<u>色んな声かけて下さい。</u>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・報告、連絡、相談を重視し、緊急時対応の体制を整備している。 ・状態変化、急変時に迅速に対応ができています。		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 4 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 15 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 1 4. 利用者の 1/3 には満たない 4 5. 看取りの希望者はいない 1 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・24 時間体制の緊急時対応で安心を提供できている。 ・包括的なサービスを実施するよう努めている。	看取りに対しての色々なフォローをしてください。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」